

三条技能創造大学開設検討委員会（第10回）

議事概要

1 開催日時 平成31年1月29日（月）14時55分～16時15分

2 場 所 三条市役所 第二庁舎3階 301会議室

3 出席者 [委員]（敬称略）
高橋勉（委員長）、兼古耕一（副委員長）、アハメド・シャハリアル、
齋藤一成、木村栄一、勝見悦行の各委員（6名）

[事務局]

駒形総務部長

高等教育機関設置推進室

坂田室長、今井次長、相場主査、田代専門員、若木専門員

商工課

瀬戸主幹

4 傍聴者 なし

5 報道機関 新潟日報社、三條新聞社、越後ジャーナル社

6 配付資料

- ・資料1 アンケート調査について
- ・別紙 高校生向けアンケート調査票
事業所向けアンケート調査票
- ・資料2 学則について

7 会議概要

(1) 開会

(2) 議事

[アンケート調査について]

- 事務局から、配付資料に基づいて、「アンケート調査について」の説明があった。
- 各委員による意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。
- ① 事業所向けアンケート調査について、工業部会所属以外の印刷・紙器や食品関

係などの製造業者も調査対象に加える必要がある。

- ② 栄商工会や下田商工会所属企業も調査対象に加えてはどうか。
- ③ 業種の選択肢は、この地域の産業の実情に沿うようにしたほうが答えやすい。
- ④ 高校生向けアンケート調査票は、学生が必ず読むため、大学の特長を周知する絶好の機会である。選択肢でその特長をしっかりと示すとよい。
- ⑤ 調査対象の高校1年生は、まだ進路について具体的な考えが決まっていない生徒が多い。大学進学希望者に限らず、全ての生徒が全ての設問に答える形としたほうがよいのではないか。
- ⑥ 高校生向けアンケート調査票は、設問の順番も重要。大学の特長を示す設問のあとに、三条技能創造大学への進学意向を聞くべきではないか。

[学則について]

- 事務局から、配付資料に基づいて、「学則について」の説明があった。
- 各委員による意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。
- ① 地域連携キャリアセンター長は、教員に限らず、地元産業界に明るい人材の起用を考えてもよいのではないか。
- ② 大学の開設に当たり、地域連携キャリアセンターのように特徴的な組織は重要なPRポイントになる。
- 事務局から次回の開催について説明があった。

(3) 閉会

了